

NAGANO ゴルフ協会だより

2011年11月

ジュニア選手権の初主催など、2011年の協会主要事業は市町村対抗大会をもって無事に終了しました。ご協力ありがとうございました。

8月以降の大会結果などをお知らせします。

(文中敬称略)

山口国体、男女とも不本意な結果

第66回国民体育大会のゴルフ競技は10月6日から3日間、山口県の宇部72カントリークラブ万年池東コースで男子、西コースで女子の競技が開催された。

少年男子は北信越国民体育大会で4位に終わり、本国体には出場できなかった。

成年男子 東コースは起伏がある6958ヤードの難コース。三沢康弘(伊那市=監督兼任)、水城雄貴(松本市)、井田勇太(長野市)3人で、チーム合計スコアは498。43位に終わった。個人成績は水城が161で100位、井田が164で108位、三沢は2日目に大崩れし173だった。

県予選トップの広田文雄(須坂市)はケガのため出場を辞退、4位の井田が交代出場した。

団体優勝は埼玉県443。トップクラスの選手たち顔をそろえたが、2日間トータルでアンダーパーの選手が1人だけで攻略に苦労したことがうかがわれる。

女子 西コースは6260ヤード。こちらは14人がアンダーパーの激戦。選手は国体3年連続出場の小出真鈴(長野西高2年)、2年連続の浜上佳奈(佐久長聖高2年)とジュニアナショナルチーム入りした高橋恵(佐久長聖中3年)。若いチームだが、内山敏監督は「ベスト10入りを狙う」としていた実力あるメンバーだ。

チーム合計スコアは458、昨年32位から29位に順位を上げたが、「力を出し切れなかった」と全員が悔やむ結果だった。個人では高橋148で36位、小出と浜上はともに155の97位タイ。団体優勝は福岡県427。

少年男子 長野県が会場となった第32回北信越国体の少年男子競技は8月11、12日に信濃ゴルフ倶楽部(6879ヤード)で行い、斎藤和也(軽井沢高校3年)、高橋昌也、久野勇輝(ともに佐久長聖高2年)の3選手が出場。監督は明科高校の沼田誠教諭、支援コーチは檀原賢裕(長野工業高教諭)。

チーム合計225で3位の福井県に5ストローク及ばず4位で2年連続獲得していた本国体出場権を逸した。個人成績は斎藤が73、高橋74、久野78。優勝は石川県217。

第47回市町村対抗は長野市が2年連続優勝

第47回市町村対抗大会は10月20日、大浅間ゴルフクラブで開いた。4支部予選には合わせて76チームが参加、勝ち抜いた40チーム、160人が参加した(6888ヤード、パー72)。

団体は長野市(小山宏充、大水博之、山崎修、井田勇太)が4人合計310の好スコアで優勝、2年連続12回目の栄冠だ。2位は塩尻市(熊谷厚水、野澤文治、今井高行、宮島一馬)311で悔しい1ストローク差。3位は諏訪市(茅野弘喜、藤森康年、藤森勇一、小池康成)315。4位は池田町(伊藤啓二、片瀬博幸、椎塚敏光、勝家哲夫)317、5位千曲市(松本誠、中澤俊一、飛田隆行、中村真也)317、6位立科町319、7位佐久市321、8位上田市322、9位駒ヶ根市324、10位中野市325の順。

個人はただ1人アンダーパー69の小山宏充が初優勝した。72で5人が並び年齢順で2位は川合文男(上田市武石)、3位は伊藤啓二(池田町)4位宮下淳志(立科町)5位茅野弘喜(諏訪市)。小林玄太(小諸市)は同スコアながら入賞は逸した。

日本マスタース、男子37位、女子は39位

日本スポーツマスタース2011石川大会は9月15、16日・加賀市で行い、男子は呉本公太(岡谷市)、外谷義則(飯綱町)、宮澤亮三(長野市)、女子は嶋田万里子、中村節子(長野市)と予選3位の丸山みち子(安曇野市)の都合がつかず丸山はる代(長野市)に交代し、6選手が出場した。

男子団体は上位2人の合計スコア324で37位。個人戦は呉本が164で85位、宮澤は165、外谷は166と不調だった。優勝は新潟299。

女子団体は364で39位。一昨年まで2大会連続で5位の好成績で、去年も16位だったが、順位を大きく下げた。個人戦は丸山が182で88位、嶋田185、中村186。

優勝は宮城320。

ねんりんピック熊本は14位

熊本県阿蘇ゴルフ倶楽部で10月17日開いた、ねんりんピック2011熊本ゴルフ交流大会には、シニア市町村大会優勝の松本市梓川チームから永原裕章、小松正明、花岡良行の3選手が参加した。合計年齢は212歳。

全都道府県に政令指定都市を加えた55チームが参加、団体戦は229.4で49位。団体優勝は合計年齢204歳の山梨県で216.6。

65-69歳の部の小松はネット74.6で27位(グロス89)、花岡はネット77(グロス83)で42位、70歳以上の部の永原はネット77.8で71位だった。

県アマは小林玄太が初優勝

第44回県アマチュア選手権大会は8月30、31日、大浅間ゴルフクラブ(6668ヤード、パー72)で開いた。

ド、パー72)に 147 人が参加して行い、小林玄太(小諸市)が初優勝した。

小林は初日、71 でトップの好川耕司(長野市)に 2 打差の 2 位でスタート、2 パーディー、4 ボギーの 74 にまとめて通算 1 オーバーの 145 で栄冠を手にした。

2 位は 2 日目 70 とただ一人アンダーパーで回った続木良博(塩尻市)が合計 146 で前日の 26 位から急浮上、3 位タイに池田玄順(小海町) 伊藤啓二(池田町) 小林浩之(諏訪市) 小林一三(上田市) 渡辺誠(駒ヶ根市) 片瀬博幸(池田町)の 6 人が 147 で並んだ。

9 位タイは 148 の田中孝幸(佐久市)、一之瀬方賛(上田市) 土屋寿夫(軽井沢町)の 3 人。初日 69 の好スコアをマークした好川は、後半乱れて 149 の 12 位に沈んだ。

来年の関東アマチュア選手権では優勝の小林はブロック大会シード、9 位までの選手に予選シード権を与えられる。

第 29 回全国都道府県対抗は 19 位

県アマ上位の小林、続木、池田の 3 人が出場した第 29 回全国都道府県対抗選手権大会は 10 月 26、27 日に愛媛県サンセットヒルズカントリークラブ(6932 ヤード、パー 72)で開催。3 人の合計スコアで競う団体戦は 494 で昨年の 23 位から 19 位に順位を上げた。

個人戦は続木が 156 の 15 位タイ、小林は 162 の 51 位タイ、池田は 176 で 127 位タイだった。

女子アマ プレーオフで青沼が 3 度目栄冠

第 28 回女子アマチュア選手権は 10 月 14 日、諏訪湖カントリークラブの 5994 ヤード、パー72 のコースで行い、77 人が出場した。優勝争いは 4 大会連続のプレーオフとなり、青沼美寿紀(上田市)が 2 年ぶり 3 度目の優勝を飾った。

プレーオフは 74 で並んだ青沼と 9 年ぶりの優勝を狙った山下かつみ(茅野市)の争い。1 ホール目、ともに 2 オンし青沼が下り 8 メートルのバーディーパットを沈めて、決着をつけた。山下は、約 5 メートルのバーディーパットをはずした。山下は最終ホールで 3 パットして並ばれたのを悔やんだ。

青沼は 2 年前も 3 人のプレーオフで争い、2 ホール目で勝利を手にした。初優勝の 06 年は 2 位に 4 打差だった。

3 位は 76 の高田真希(茅野市)、4 位は石田範子(長野市) 79、5 位は丸山みち子(安曇野市) 80。6 位タイに土屋紀代美(千曲市) 塩入麻美(長野市) 東本利江(松本市) 竹節嘉恵(山ノ内町) 別府砂織(山ノ内町)の 5 人が入賞した。

前回優勝の山田綾子(松本市)は 88 の 34 位タイだった。

シニア選手権は男子・呉本、女子・嶋田

男子 60 歳以上、女子 50 歳以上が競う第 16 回シニア選手権は、9 月 29 日に長野カントリークラブで行った。男子は 121 人、女子は 44 人が参加。

男子(6622 ヤード、パー72)は、呉本公太(岡谷市)が3バーディー、8ボギーの出入り激しいプレーながら接戦を制し77で前年に続き連続優勝した。2位タイは1打差で勝家哲夫(池田町) 黒岩護(須坂市) 原利之(松本市) 中山敏夫(上田市)の4人。6位タイに79の中原茂(諏訪市) 永沢知之(中野市) 小林博司(松本市) 藤田一夫(伊那市) 渡辺登季男(坂城町)の5人が並んだ。

女子(5914 ヤード、パー72)は、嶋田万里子(長野市)82で、3年ぶり3度目の優勝。2位は83の小林ゆたか(松本市) 3位タイは85の西村けさみ(伊那市)と山下かつみ(茅野市) 5位は86の松野美保子(信濃町)と笹岡美保子(塩尻市) 7位に長門明子(千曲市) 8位タイには88の西條咲子(須坂市) 伊沢京子(松本市) 吉原みさえ(伊那市) 石坂美千子(長野市) 丸山みち子(安曇野市)、加藤きよ子(長野市) 6人が入賞した。

関東ジュニア選手権の予選に位置づけへ

協会北信支部から引き継ぎ信濃毎日新聞社、信越放送との3者主催とした県ジュニア選手権は、後援した関東ゴルフ連盟から、高く評価され、来年度から関東ジュニアの予選に位置付け、上位入賞者に決勝シード権を与える方向で検討されている。24年度の大会は5月6日、立科GCで開催する予定。

一方、関東ゴルフ連盟は国際大会で活躍できるエリート育成にも力を入れる方針で強化策に取り組むという。

県内のJGAジュニア会員は約400人。登録者は毎年増え、関心が高まっている。諏訪湖CCにプロを招いての夏季ジュニアスクールを開催、ジュニア大会は、第4回アマチュア選手会主催大会、第4回須坂JCカップ、第2回abn佐久市大会に加え、11月には第1回SBCジュニア大会が長野カントリークラブを会場に開催された。

地域ごとの取り組みも活発。長野市、上田市、松本市にゴルフスポーツ少年団があり、中信地区のジュニア育成委員会、辰野町ゴルフ協会、駒ヶ根市ゴルフ協会は、練習場を中心にマナーやルールを学ぶことから始め、子供たちに丁寧に指導している。

4年目の女子強化研修会

4年目を迎えた女子強化研修会登録メンバーは101人(10月末現在)。諏訪湖、長野CCで計3回研修会を実施、所属プロの指導を受ける機会を設け、毎回50人以上が参加した。

23年度の総合成績で泉谷寛子(茅野市)がトップ、2位山下かつみ(茅野市) 3位別府砂織(山ノ内町)らを表彰した。

以上